

国立病院機構南岡山医療センターにおいて
2018年9月1日～2023年8月31日の間に
当院神経筋疾患病棟に入院された患者さん

—「神経筋慢性期病棟入院患者での急性膵炎」へのご協力のお願い—

研究機関名 国立病院機構 南岡山医療センター

研究機関長 谷本 安

研究責任者 国立病院機構 南岡山医療センター 臨床研究部・脳神経内科 坂井研一

1. 研究の目的

急性膵炎患者は近年増加しており、人口10万人あたりの患者数は61.8人と推定されています。急性膵炎の主な成因はアルコール性が一番多く32.5%、胆石性が25.8%、特発性が19.1%とされています。神経筋疾患と膵炎に関する報告は少なく、抗てんかん薬の副作用としての膵炎が散見されるくらいです。しかしながら神経筋慢性期病棟ではときおり急性膵炎患者を認めるためその頻度と原因を検討します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

この研究では2018年9月から2023年8月までに、南岡山医療センターの神経筋疾患病棟において入院された患者さんのうち急性膵炎を発症した患者さんを対象としています。

2) 研究期間

研究機関の長許可後～2025年3月31日

3) 研究方法

2018年9月1日から2023年8月31日の期間に当院神経筋疾患病棟に入院された患者さんのうち急性膵炎を発症した患者さんの診療録を用いて後方視的に解析します。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、カルテからその原疾患、発症の原因、リスクファクターを抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し使用します。

5) 外部への試料・情報の提供

この研究に使用する情報は南岡山医療センターにて解析を行います。

6) 試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または研究終了後5年間、南岡山医療センター医局内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

7) 研究計画書および個人情報の開示

ご家族のご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究は氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、患者さんの試料・情報が研究に使用されることについて、問い合わせ等がございましたら下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者様に不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

国立病院機構南岡山医療センター

担当者:管理課 河本泰宏

電話:086-482-1121(平日:8時45分~17時15分)

ファックス:086-483-3883